平成20年度実績事務事業評価シート

1	Δ	٠,	 L	١
١.	п	_		- 4

		一火 4	_ 0	十尺	大恨于勿于木		(	<b>7</b>	17)		作成日:	平成21	年8月	7日
生	<b></b>	番号		01-10	00603001-01	事業種別 一		般			事業態標	羡	継	総続
-	可公文官	事業名	白土	咬給食	市光		区分	コード	`		名	称		
=	<b>計</b> 4万 =	尹未石	<del>  </del> 1	义和艮	尹未		会計	1	一般会計	H				
		区分	•	コード	名	称	款	10	教育費					
(1)	.,	#+-	1 <del>-</del>	1	豊かな心と創造性あ	ふれる人材育成の	項	2	小学校					
総合	前期	基本目	倧	1	まちづくり		目	1	学校管理	里費				
計	基本	施施	策	1	1 子どもの心身育成と教育の充実		細目	3	保健管理	里事業				
総合計画体系	本	旭	來	1	すともの心身 自成と	教目の元夫	細々目	1	保健管理	里事業				
14 系	計画		基本事業 4		4 健全な心身を育む学校教育の推進		枝番号	1	保健管理	里事業				
211	I	基本事						事業の 去令等	√ 有	学校教育	法、学校給	食法、学	<b>栏校給食</b>	実施基準
事業期間 単年度 ✓ 単年度繰返			三度繰返し	期	間限定袖	复数年度	(	年	度 ~		年度 )			
事業概要 (事業のあらまし) 学校給食法に基づき、学校給食を行う学校及び学校給食共同調理場等に対して、安全・良質な学校給食用物資を供給							:供給する.							
				✓ 総合	合計画 前期基本計画	可主要事業		担	当部課等	教	育部		幼保学	校課
		画等での 置付け		自自	主的財政健全化計画	基本計画・構想・新	新規事業		担当係	学校	教育係	記入者	三瓶 阝	隆
1上巨门()				✓ 亚 <sub>E</sub>	₹20年度重点事業				一次評価	fi者 (課長	( ) ( ) ( )	遠藤義富	Ţ	

# 1 行動方針 (PLAN)

	1123777 X (1 DIE1)											
事	対象(誰を、何を)	沢地区小中学校児童生徒										
業	意図→目指す成果			区分	指標名		単位					
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの	食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進と、食糧の生 産、配分及び消費について正しい理解に導く。		成果	① 事故発生件数		件					
	か)		ß	指標	2							
	r cn.			区分	指標名		単位					
手段(事業の具体的な		自校給食に伴い、糠沢小学校の栄養技師のもと献立を作成  し、各小中学校に配信する。各校ではその配信を受け賄い		活動	① 給食実施回数(回)	/校	回					
F	内容、手順等)	材料の発注を行う。		指標	2							

# 2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(決	算)	平成21年度	(決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円)	
	需用費	154					
	委託料	438		····			
	負担金・補助及び交付金	298					
直接事業費							
			\				
	①事業費計		①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数 (年)	0.10	②人数(年)		<b>&amp;</b> 人数 (年)		
	③平均人件費	8,608	③平均人件費		③平均人件費		
	4=2×3	861	4=2×3		4=2×3		
総事業費 ①+④		1, 751					
	国庫支出金						
	県支出金				\		
財源内訳	使用料及び手数料					$\setminus$	
知源内訳	地方債						
	その他						
	一般財源	1, 751					

# ○事務事業の実績

	/	指標名		標名     単位		平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)	
I	活動指標	1	給食実施回数(回)/校	田	180	180	180	180	
	伯男用保	2							

# 本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	1 事故発生件数	件	0	0	0	0
/ 八木1日伝	2					

# 3 評価 (CHECK)

	1 次	:評価】							
		項目	区 分		選択理由の説明	項目評価			
目的妥当性	1	意図が政策・施策体系と結びついているか?	<ul><li> 結びつかない</li><li> 対びついている</li></ul>	$\Rightarrow$	学校給食を健全・円滑に運営し、安全・安心な給食を児童 生徒に提供することは、学校教育活動を充実させ、教育の 推進に貢献するものである。	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ やや不適切</li></ul>			
	2	市が行うべき(関与すべき)事業か?	<ul><li></li></ul>	$\Rightarrow$	今般の厳しい財政からして、経費の削減を考え調理業務等 の民間委託を段階的に推進する必要がある。	□ 不適切			
有効	1	目的を達成するための手段 (実施方法)は有効か?	<ul><li>✓ 有効である</li><li>○ やや有効でない</li><li>○ 有効でない</li></ul>	$\Diamond$	食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進と、食糧の生産、配分及び消費について協議会で検討を重ねた。				
性	2	成果指標の目標値の達成状 況は?	<ul><li>✓ 順調である</li><li>○ やや順調でない</li><li>─ 順調でない</li></ul>	$\Diamond$	学校給食を健全・円滑に運営し、安全・安心な給食 を児童生徒に提供できたことで事件事故もない。				
効率	1	投入した事業費又は人員に 見合った効果は得られてい るか?	<ul><li>✓ 得られている</li><li>○ やや得られていない</li><li>○ 得られていない</li></ul>	$\Diamond$	事業の内容について再検討・見直しとを協議し、必要最小限で経費の削減に取り組んでいる。	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ やや不適切</li><li>✓ 不適切</li></ul>			
坐性	2	効率的な方法で実施されて いるか?	<ul><li>✓ 実施されている</li><li>○ やや実施されていない</li><li>○ 実施されていない</li></ul>	$\Diamond$	事業の実施内世を見直すなど、点検・整備をすることで効率的に実施している。				
公平性	1	受益者の負担が適正かつ特 定の個人や団体に偏ってい ないか?	<ul><li>✓ 馴染まない</li><li>│ 適正である</li><li>│ やや適正でない</li><li>│ 適正でない</li></ul>	$\Diamond$	事業の性質上受益者負担はない。	<ul><li>■ 適切</li><li>■ やや不適切</li><li>■ 不適切</li></ul>			
[ :	【2次評価】								
<u> </u>	<u></u> 全体評価								
	適切   やや不適切								

\_\_\_ 不適切

4	評価による行動(AC	CTION)					
		【1次評価】	【2次評価】				
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)			
20年度	<ul><li>拡大・重点化</li><li>手段等の見直し</li><li>√ 現状継続</li><li>廃止・休止</li><li>完了・終了</li></ul>	研修・講演の成果を各セクションできちんと実施できるような組織の理解と推進体制の整備を行う。	<ul><li>拡大・重点化</li><li>手段等の見直し</li><li>現状継続</li><li>廃止・休止</li><li>完了・終了</li></ul>				
/ 19年度	拡大・重点化 手段等の見直し 現状継続 廃止・休止 完了・終了		放大・重点化				
18年度	拡大・重点化 手段等の見直し 現状継続 廃止・休止 完了・終了		拡大・重点化   手段等の見直   現状継続   廃止・休止   完了・終了				